

札幌市環境活動コンテスト「札幌環境未来カップ2004」の開催について

札幌市では、CO₂削減アクションプログラムの一環として、札幌市環境活動コンテスト「札幌環境未来カップ2004」を開催します。

この事業は、スポーツを利用した環境教育プログラムを成功させている環境先進国のドイツの取り組みを参考に行うもので、スポーツ・レクリエーション等の活動を通して子どもたちに楽しく環境保全活動に取り組んでもらうことを目的としています。今回は、サッカーを対象として実施します。

1 事業の概要

(1) 参加チームに、「環境ワークブック」の課題（サッカーと環境問題が融合したクイズや環境保全活動）に取り組んでもらいます。クイズは二択とクロスワードの簡単なもので、解いていくにつれて環境問題に関する知識が身に付くように作られています。

クイズの例：「札幌市内で1人当たり1日にどのくらいの二酸化炭素を出しているか」という問題に対し、「牛乳パック（1リットル）で約6,617本分」と「サッカーボール約3個分」から答えを選ぶ。

(2) 参加チームには、抽選で、プロサッカーコーチによるサッカークリニックを実施します。

(3) 提出されたワークブックをチェックし、環境保全活動で特に工夫が認められたものについてホームページなどで紹介します。

また、チェックをクリアしたチームには、「さっぽろかんきょうみらいカップ2004」に参加してもらいます。これは、ワークブックで得た環境に関する知識とサッカーの技術を使って、クイズやゲームに挑戦するものです。

そこで優秀な成績を収めた8チームに、11月23日に札幌ドームで行われる「コンサドーレ札幌対大宮アルディージャ戦」の前座試合に出場する権利をプレゼントします。また、ワークブックを提出した全チームをこの日の試合観戦に招待します。

2 対象

市内のサッカー少年団（約120チーム）に所属している児童（約5,300人）。カテゴリー（小学1年生～4年生）、カテゴリー（小学5年生～6年生）の区分で11人のチームを作り、登録してもらいます。

3 実施期間

平成16年7月12日～平成16年11月23日

4 実施スケジュール

7月12日	キックオフ（エントリー開始、ワークブック配布）
8月中旬	プロサッカーコーチによるサッカークリニック開催
9月5日	環境ワークブック提出締め切り
10月1日	環境ワークブックチェック

11月 6日	「さっぽろかんきょうみらいカップ2004」開催(札幌ドーム「サブグラウンド」)
11月23日	優秀チームによる前座試合(札幌ドーム「メイングラウンド」)「コンサドーレ札幌対大宮アルディージャ戦」観戦

5 周知方法等

事業の実施に当たっての周知活動については札幌地区サッカー協会や札幌市サッカー少年団連盟から、前座試合については㈱北海道フットボールクラブからご協力をいただきます。

問い合わせ先

札幌市環境プラザ 濱谷, 吉田 電話 728 - 1667
(札幌市北区北8条西3丁目 エルプラザ2階)